

AI活用型オンデマンド交通導入について

令和5年8月18日

名寄市総合政策部 地域課題担当

令和4年10月に運転手不足を理由とするコミュニティバス西回り減便を受けて、昨年9月開催の本協議会で新たな交通モードを検討することを確認した。

以降、新たな交通モードの検討を進めて、デジタル技術を活用して地域の課題解決を支援する国の制度を活用して、名寄市の「AIオンデマンド交通とデジタル地域通貨導入による地域デジタル基盤強化」事業を行うものである。

5月17日開催の協議会以降、協議会内に設置した専門部会で議論した概要を、本日承認いただきたい。

AI活用型オンデマンド交通導入の概要

	内容
運行方式	利用登録者が、乗車予定日時に3日前から電話またはスマートフォンのアプリ・LINEで車両を予約すると、AIが最適なルートや運行時間を算出し、乗合によって市内の各所に設置したポイントで乗降できるオンデマンド型のサービスであり、持続的な公共交通と利便性向上、市民の外出機会の創出を図ることで経済活性化を目的とするものである。
運行期間	令和5年11月～令和6年3月31日まで運行して、令和6年以降も適宜、運行内容を見直して継続的な実施を図る。
運行時間	午前7時～午後7時 土日祝日の運行については運行事業者との協議により決定
運行区域	名寄地区市街地
乗降場所	乗降ポイントは市内に約300m間隔で設置をしたポイントとする。 乗降場所は、利用状況などから適宜改善する。(当初は想定約110か所程度)
料金	大人(中学生以上)300円 小児(小学生)200円 幼児、乳児0円 障がい者100円 障がい者小児100円 現金と、現在導入が検討されている地域通貨での支払いとする。 現金支払いについては期間限定とすることと、地域通貨へのメリットを制度設計することで、地域通貨支払いへの移行を進める。
システム	公募型プロポーザルにより決定したAIシステムを採用する。
道路運送法上の位置づけ	道路運送法第21条による運行 (国土交通大臣の許可を受けた場合等における、タクシー事業者による乗合旅客の輸送)
運行事業者	市内事業者による運行
運行車両	ハイエースグランドキャビン4WD(定員10名、乗客定員8名)
目標値	2023年度末 年間平均30名/日(デジタル田園都市国家国家構想交付金目標値)

利用方法



公式アカウント内メニュー上への表示や、QRコード、メッセージ送信も活用し、地域住民の皆さまへ広く周知

画面の切り替えや専用アプリのインストール不要で、LINEアプリ上で登録から予約まで完結。登録に際してはLINEで登録した情報と連携。

当面のスケジュール

月	主な内容
8月	地域公共交通活性化協議会でAI活用型オンデマンド型交通の協議 北海道運輸局へ道路運送法第21条の許可申請 乗降拠点の位置確定
9月	運行システムの構築 市民説明会の開催（システム概要など）
10月	市民説明会の開催（具体的な利用方法など） 利用者登録受付
11月	運行開始 運行開始後も説明会実施
11月～ R6年10月	利用者登録状況・利用状況（単発利用・多頻度利用）・予約インターフェ イス別利用状況・サービスレベル（待ち時間・運行効率）等の月次分析を 実施 また、利用者・地域の声を含め運行の改善・利用者獲得のための個別周知 活動を実施 道路運送法第21条による運行期間中に利用者定着に向けた改善を切れ目な く行う（必要に応じて名寄市地域公共交通活性化協議会への報告・諮問の 上改善する場合あり）
R6年11月	継続して運行実施